

第 2 次宇陀市総合計画 目標 (案) 及び目標値 (案) の設定について

1. 目標の考え方について

第 5 回幹事会までの議論を踏まえて、目標については、様々な取組みの結果 (成果) として、基本構想で定めた「将来像」や「目指すまちの姿」をどの程度は達成できたかを把握できるようにすることが望ましい。そのために、目標の評価指標としては、事業予算等の活動のレベルではなく、事業による効果等の成果のレベルを設定している。

また、評価指標のデータを収集するためだけに新たなコストが生じないように既存の調査結果 (担当課の統計データ、国勢調査等) から収集できるものを優先的に活用することを基本としている。

3. 評価指標 (案)

目標とする指標及び目標値の設定方法に準じて、各部会・幹事会で議論した評価指標等の案を下表に示す。

2. 目標 (案) 及び目標値 (案) の設定について

「目指すまちの姿」の達成度合いを把握できるようにするために、目標 (案) 及び目標値 (案) を複数設定している。下記の点に沿って、設定の妥当性を庁内委員会で確認して、目標 (案) を「目指すまちの姿」毎に検討した。

【目標 (案) 及び目標値 (案) の設定の妥当性の確認項目】

- ① 設定の適切さ：目指すまちの姿の達成度合いを把握するものとして適切か
- ② データ収集の実現性：担当課で把握可能なデータか
- ③ 目標値の実現性：目標値が実現不可能なものになっていないか

目指す まちの姿	目標 (案)	評価指標 (案)	評価指標の 根拠資料	現状値	目標値 (案) (目標年次:2029 年)	評価指標・目標値の設定の意図や考え方等	《参考》 関連する「施策の方向性」
健幸な まち	健康寿命の延伸	健康寿命	奈良県提供データ (各年)	男性：82.45 歳 女性：84.80 歳 (2015 年)	男性：84 歳 女性：86 歳	・市民ひとりひとりが健康を維持することにより、健幸寿命の向上につながると考えられる。 ・目標値に関しては、2012 年に厚生労働省が 2020 年までに健康寿命を 1 歳以上延伸することを目標設定している。国の提示している目標を最低限クリアすることを目指して、2012 年時点での宇陀市の健康寿命 (男性：82.12 歳、女性：84.89 歳) に 1 歳を加えた値の小数点以下を切り上げとしている。	“健幸都市ウェルネス シティ” 宇陀市の実現
	1 人あたりの 年間医療費の削減	1 人あたりの国民健康 保険の医療費	決算資料 (各年)	363,735 円/人 (2017 年度)	全国平均を下回 る又は奈良県平 均を下回る	・市民ひとりひとりが健康を維持することにより、長期の入院や治 療が減少し、年間医療費の削減につながる考えられる。	“健幸都市ウェルネス シティ” 宇陀市の実現
	子どもの占める割合の向上	15 歳未満人口比率	住民基本台帳 (各年)	9.14%	●●% (向上)	・保健・医療・福祉等の連携・充実や地域の協働によるまちづくり によって、子どもを安心して育てられる環境が整い、15 歳未満人 口比率の向上につながる考えられる。	結婚・出産・子育て世 代への魅力ある支援 の充実
暮らし やすい まち	まちの住みやすさの向上	住みやすさランキング (県内の市)	東洋経済新報社 (各年)	11 位/県内 12 市 (2016 年)	奈良県 1 位	・住みよいまちづくりが進むことにより、定性的な「住みやすさ」 が向上すると考えられる。 ・住みやすさランキングは奈良県下の 12 市の中での順位とする	みんなが住み良いま ちづくりの実現
	社会増減数 (転入者数-転出者数) の改善	社会動態	住民基本台帳 (各年)	-205 人 (2017 年)	0 人	・公共インフラ整備等によりまちの住みやすさが向上することによ り、市外への転出者数が減少し、また、市外からの移住促進につ ながると考えられる。	移住・定住の促進強化

目指す まちの姿	目標(案)	評価指標(案)	評価指標の 根拠資料	現状値	目標値(案) (目標年次:2029 年)	評価指標・目標値の設定の意図や考え方等	《参考》 関連する「施策の方向性」
活力ある まち	地域資源を活かした 産業の活性化	地域資源を活かした 商品開発数	所管課資料 (各年)	6 件	20 件(向上)	・地域資源を活かした商品(食品、観光商品等)の開発により、活力あるまちにつながると考えられる。	地域資源の保全及び 産業と連携した活用
	観光の活性化	観光入込客数	所管課資料	1,401 千人 (2016 年)	●●千人(増加)	・観光入込客数が増加することで、市内での経済活動が活発化すると考えられる。	観光戦略の推進
生涯輝く まち	自尊感情の向上	自分には、よいところ があると思う児童生徒の割合	全国学力学習状況調査	小学校：75.3% (全国：84.0%) 中学校：76.3% (全国：78.8%)	小学校：85.0% 中学校：85.0%	教育の質がさらに向上することにより、自尊感情の高い子どもが育つ環境が作られると考えられる。	子どもたちの教育環境の充実
	郷土に愛情を持った子どもたちの育成	今住んでいる地域の 行事に参加している 児童生徒の割合	全国学力学習状況調査	小学校：68.2% (全国：62.7%) 中学校：47.0% (全国：45.6%)	小学校：75.0% 中学校：55.0%	教育の質がさらに向上することにより、郷土に愛情を持った子どもが育つ環境が作られると考えられる。	子どもたちの教育環境の充実
	スポーツ・芸術・文化への 関心の向上	市内主要施設の 年間利用者数※1	所管課資料 (各年)	187,927 人	188,000 人	・スポーツ・芸術・文化への関心が高まることで、施設の利用状況の向上につながると考えられる。	スポーツ・芸術・文化の振興
自然 豊かな まち	市内の河川の水質の 維持・改善	宇陀川の BOD (高倉橋橋観測所)	所管課資料 (各年)	0.7mg/1 (2015 年)	0.6mg/1	・様々な取組みによって、市内の美しい川の維持及び更なる美化につながる。 ・BOD は 1.0mg/1 以下であれば、きれいな溪流とされている。	豊かな自然環境の 保全・活用
	市民 1 人当たりの ゴミ排出量の削減	市民 1 人あたりの ゴミ排出量	所管課資料 (各年)	0.27t/年	0.25t/年	・循環型社会への取組みや自然環境を保全・活用する取組みに推進が、市民の排出するゴミの削減につながると考えられる。	生活環境の整備・充実
地域力を 発揮する まち	地域が主体となった まちの活性化	まちづくり協議会に よる取組件数	所管課資料 (各年)	245 件	300 件(向上)	・地域力の発揮により、まちづくり協議会による取組みが増加すると考えられる。	市民と行政の協働の まちづくり
	情報共有の促進	市やまちづくり協議会 の SNS のフォロワー数	所管課資料 (各年)	1,044 件	3,000 件(向上)	・市民との情報共有を積極化したことにより、SNS のフォロワー数が増加すると考えられる。	市民と行政の協働の まちづくり
	経常収支比率(財政の弾力性) の改善	経常収支比率	市の財務諸表 (各年)	95.1% (2016 年)	90.0%	・市民と行政が適切な役割分担のもと、まちづくりを進めることにより、行政の財務負担の軽減につながる。	健全な行政運営の推進

※1：市内主要施設は、市民を中心に利用のある大規模施設として、文化会館・温水プール・公民館 4 館・ふれあい交流ドーム・図書館を設定